

YMCA News

7・8

山は厳しく優しい、そして冒険がいっぱい!



YMCA日和田高原キャンプ場ボランティア
(一般)愛知県山岳・スポーツクライミング連盟 山岳コーチ1

坂口 公美

私が本格的に登山を始めたのは、33歳の時。山好きの父に誘われて、2月の冬山ガイドツアーで八ヶ岳の赤岳(標高2,899m)へ登りました。それまでの山の経験といえば、学校登山くらいで、全くの素人。すべての服装や装備を借りて、出発前夜に父からその使い方を習いました。当日はガイド2名、生徒は約10名、当然私が一番の初心者でした。他の参加者に心配され、迷惑をかけながら、頂上に立ちました。頂上は暴風が吹き、ガスで景色は何も見えず、感動した覚えもありません。しかしその日から私の人生はガラリと変わりました。今まで夢中になっていたダイビングをぱったりと止め、登山中心の生活となりました。山岳会にも入り、可能な限りの休日を山登りや岩登りに費やしました。

何がそんなに魅力だったのでしょうか? 日常からかけ離れた何もかもが、新鮮で楽しかったのです。最初のころは、何も考えずただただ頭を空っぽにして必死で登りました。高い山は天空の世界で、下界とは違った世界が広がっていました。次第に地図が読めるようになり、どのルートから登ってどこへ下るか、時間はどれくらいかかりそうか、何時にどこまで行けなかったら引き返すか、など計画を練るのが楽しくなりました。仲間と登れば、困難な岩場や深い雪山でも進むことが出来ました。

体力や筋力が落ちてきた現在では、厳しい山登りはできなくなりましたが、YMCAの繋がりですぐ新しい仲間も増え、新たに山登りを始める彼らの嬉しそうな顔を見る楽しみもふえました。

山登りは自由です。いつ、どこへ、誰と登るか、自由に決められます。それゆえに危険も付きまといます。山はいつでも危険なことには変わりがないのです。そしてその危険を感じ取ることが重要です。たとえば岩がむき出しの崖の上を歩くときは、危険だと誰もが感じます。ところがそこに草が生い茂っていたり花が咲いていたら、あまり危険だとは思わなくなってしまいます。また予定よりも随分歩くのが遅くなっていたら、帰りが暗くなって危険だと思わないといけません。

その反面、山登りには冒険が一杯詰まっています。小さな判断をいつも強いられます。何をもっていくのか、食料や水の量はどうか、右へ行くか左へ行くか、先へ進むか引き返すか。その結果、素晴らしい絶景に出会えることもあります。しかし判断の間違いが、大変なことになることも少なくありません。いくら準備して行っても、自然相手です。予測外のことが起きたり、失敗したりもします。その時に大切なのは、「何とかする力」だと私は思っています。何とか無事に、家へ帰らなければならないのです。そして「感」も大切です。この情報社会にと笑われそうですが、何か嫌だから引き返そう、とかこれは大丈夫だ、とか何度も山に入るうちに感じる感性は大事かと思います。

取り留めもなく山のことを書きましたが、子どもたちにはもっと外に出て遊んでほしいと思います。野山を駆け巡る、そんなことで養われるものを感じて欲しいのです。

森、湖、山...様々な自然の中でのキャンプがある名古屋YMCAのキャンプをご紹介します!
特に立山アルペンキャンプでは、愛知県山岳連盟の方と一緒に、登山やハイキングにチャレンジできます! ぜひご参加ください。

高遠はじめてキャンプ

初めてのキャンプのお友だちにおすすめ!
大きな木のロッジに宿泊をします。
川遊びや森探検、キャンプファイヤーを行います。
日 程: 8月1日(土)~2日(日)
場 所: 国立信州高遠青少年自然の家(長野県)

びわ湖アクアキャンプ

びわ湖で様々なウォーターアクティビティを楽もう!
カヤック、カヌー、いかだ作りを行います。
※現在キャンセル待ち
日 程: 8月7日(金)~9日(日)
場 所: びわ湖青少年の家(滋賀県)

日和田のんびりキャンプ

涼しい日和田の自然豊かな中で思い切り遊ぼう!
星空は絶景です。
森探検や川遊び、キャンプファイヤーを行います。
日 程: 8月10日(月)~12日(水)
場 所: 名古屋YMCA日和田高原キャンプ場(岐阜県)

日和田長期キャンプ

みんなで作る特別なキャンプ。
好きなこと、やってみることにチャレンジしよう!
登山やハイキング、川遊びを行います。
日 程: 8月17日(月)~22日(土)
場 所: 名古屋YMCA日和田高原キャンプ場(岐阜県)

立山アルペンキャンプ

立山アルペンルートの登山キャンプ。
とても綺麗な素敵な景色が待っています!
登山やハイキング、川遊びを行います。
日 程: 8月23日(日)~26日(水)
場 所: 国立立山青少年自然の家(富山県)

愛知県山岳連盟の方と一緒に楽しみます!

中高生キャンプ

中学生、高校生だけの特別なキャンプ。
豊かな自然の中で思い切り遊び、チャレンジしよう!
野外料理や川遊び、テント設営&宿泊を行います。
日 程: 8月3日(月)~5日(水)
場 所: 名古屋YMCA日和田高原キャンプ場(岐阜県)



国際協力街頭募金報告

6月14日(日)、金山駅および刈谷駅周辺にて、国際協力街頭募金を実施いたしました。

当日は、野外活動の解散後にもかかわらず、例会に参加していた子どもたちの中から有志メンバーが募金活動に参加してくれました。また、インターアクトクラブのメンバー、YMCAリーダー、ワイズメンも加わり、多くの仲間たちと共に活動を行うことができました。

今回の募金活動では、「ウクライナ避難者支援」「ミャンマー大地震復興支援」「パレスチナ支援」のための募金を呼びかけました。駅を利用される多くの方が足を止め、温かいご支援を寄せてくださいました。

募金活動に参加した子どもたちは、「困っている人のために何かしたい」という思いを込めて、大きな声で呼びかけを行いました。最初は緊張した様子も見られましたが、活動が進むにつれて自信を持って声を出せるようになり、一人ひとりが主体的に取り組む姿が印象的でした。

また、子どもたちの声かけに、多くの方が耳を傾けてくださり、「頑張ってるね」といった励ましの言葉もいただきました。募金を通して支援の輪が広がるだけでなく、地域の皆さまの温かさに触れる貴重な機会ともなりました。

YMCAでは、世界で起きている課題に目を向け、自分たちにできることを考え、行動する機会を大切にしています。今回お寄せいただいた募金は、支援を必要としている方々のために活用させていただきます。

ご協力くださいました皆さま、そして募金活動に参加してくれた子どもたち、インターアクトメンバー、YMCAリーダー、ワイズメンの皆さまに心より感謝申し上げます。

国際協力募金は7月末まで受け付けております。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(担当スタッフ 広瀬 謙一)



Road to 125

荒川 文門さん



中学生のグループリーダーとなり、グループ活動、キャンプ、野外活動など大学時代の多くの時間をYMCAで過ごしました。YMCA活動以外では高校時代より長野県大町市の大町温泉近くの、ある禅寺に一部屋借りていましたので、鹿島槍を中心に山登りに明け暮れていました。最近では体力の衰えもあり高い山には登れませんが、暇を見つけては近くの低い山登りはしています。

大学卒業後は英語教員として働くことになり、知人が教えているYMCA英語学校の教員室に何となく出入りするようになり、講師の先生たちと原書を読む会などの会に参加し英語能力に向上に役立ちました。Russelの西洋哲学史、TreckerのGroup Workなどを讀んだことを覚えています。また第1回と3回のロサンゼルス・セミナーのリーダー

としてL・Aのキャンプにも参加しました。

1967年、東海ワイズメンズクラブの設立に加わり、その3年後南山ワイズメンズクラブを立ち上げワイズメンズ活動とYMCA活動を続けました。仕事の方では当時流行のLL教育にのめりこみ、ラグビー部の顧問としても毎日忙しい日々を送りました。ラグビー関係ではこの地方で開催されるほとんどすべての海外チームの面倒を見ていました。

ワイズメンズクラブの活動に限界を感じ、5年ほど前、南山ワイズメンズクラブのメンバーとともにハーベストクラブを立ち上げ現在に至っています。ハーベストクラブの目的は、YMCAへのサービスと地域への奉仕です。YMCAサービスとしては、玉ねぎ、サツマイモなどの農産物をYMCAの諸施設の給食用に提供したり、野外活動、幼稚園、保育園の遠足の場を提供したり、YMCAに連なる人たちに収穫と交流の場を設けYMCAの「つながる」の一助としています。

また地域奉仕としては、「愛美の会」「希望の家」などの障がい者施設の方々に土に親しみ、収穫の喜びを味わって頂くことを第一に考えています。車いすから降り、土に座り収穫して楽しんで頂く姿を見ると、暑いさなかの草取り、散水などの苦労も忘れてしまいます。

こんなことで現在のYMCA活動をしています。高齢化、肥料・農業資材の高騰など先行き不安を感じているところです。できれば若いYMCAメンバーと楽しい活動をしたいと考える今日この頃です。

日本語学院 お国だより

ベトナムのクメール正月

ベトナムにはさまざまなお祭りがありますが、中でも特に大切にされている行事の一つが、ベトナム南部に住むクメール人のお正月である「チョール・チュナム・トメイ」です。毎年4月中旬に行われ、クメール人にとって新しい年の始まりを祝う大切な伝統行事です。

人々は家を掃除し、新しい服を着て新年を迎えます。そして、家族そろってお寺へ行き、健康や幸せを祈ります。お寺では僧侶に食べ物を供えたり、仏像に水をかけたりする儀式が行われます。これには過去一年への感謝と新しい年への願いが込められています。また、お祭りの期間中には伝統的な踊りやゲームなども行われ、地域全体がにぎやかな雰囲気になります。都会で働いている人たちも故郷へ帰り、家族や親戚と一緒に楽しい時間を過ごします。

ベトナムには54の民族が暮らしています。人口の多くはキン族ですが、それぞれの民族が異なる文化や習慣を持ちながらも、お互いを尊重しながら暮らしています。

私はこのお祭りがとても好きです。なぜなら、家族や地域の人々とのつながりを感じることができるからです。ぜひベトナム南部を4月に訪れて、クメール正月の温かい雰囲気を体験してみてください。

(チャウ)



連載 事業所紹介

YMCA日和田高原キャンプ場

私たちの大切な日和田高原キャンプ場は、人と人、自然と人をつないでくれる場所です。豊かな自然は、子どもたちに自然の楽しさ、新しい発見、時には厳しさを教えてくれます。その環境の中で仲間と過ごす時間は、心を豊かに育んでくれます。キャンプ場の開設準備、撤収作業は、ユースボランティア、ボランティアOBOG、ワイズメンズクラブのみなさんと共にしています。様々な世代が共に汗を流し、時間を過ごす体験はお互いに学びや刺激がある時間となっています。

夏でも涼しく外で思いきり遊べること、水がおいしいこと、山がきれいに見えること、星がきれいに見えること、日和田キャンプ場の好きなところを聞くとたくさん出てきます。それだけでなく、キャンプの楽しい思い出、心が動かされた体験があるからもう一度行きたい場所になっているのだと思います。

今年の夏休みは、のんびりキャンプ、長期キャンプを実施します。ぜひ、私たちの大好きな日和田高原キャンプ場へ遊びに来てください！

(担当スタッフ 遠藤 恵美子)



総主事コラム

再エネの光と影

再生可能エネルギーは、地球環境のために欠かせない存在として語られてきました。しかし、その導入を支える政策や制度には、必ずしも「持続可能」とは言い切れない側面が浮かび上がります。具体的には、2012年8月に固定価格買取制度(FIT)が導入され、国が再エネ電力を高値で買い取る費用を国民全体で負担する仕組みとして、再生エネルギー発電促進賦課金(再エネ賦課金)が始まりました。初年度の単価は0.22円/kWhで、標準家庭の負担額は月66円、年間792円に過ぎませんでした。しかし2026年には単価が4.18円/kWhとなり、標準家庭の負担額は月1,254円、年間15,048円へと増加し、わずか14年で約19倍に跳ね上がりました。電気料金の明細をよく見れば気づくはずですが、多くの人は電気代の上昇を「海外の原油価格の高騰が原因」と考えているようです。FITによって再エネは「儲かる仕組

み」となり、電気を売るために太陽光パネルが各地に大量に設置され、景観が大きく損なわれました。さらに、まもなく寿命を迎える太陽光パネルの処分方法や法整備は不十分で、利益だけを目的に設置した事業者の倫理に委ねられている現状は、重大な環境破壊が懸念されます。私たちは、天然林や里山林を伐採して単一樹種の人工林に転換した結果、植生が変わり環境が破壊された歴史を学んできました。それにもかかわらず、メガソーラーが山肌を覆い尽くすことは許されてきました。

リニアの開業が待ち望まれる名古屋ですが、移動速度が上がれば消費電力は当然増加します。また、便利になったAIを支える半導体の製造には、大量の水と電力が不可欠です。私たちが利便性を追い求めるほど莫大なエネルギーが必要となり、その結果として環境負荷は増大します。今年のYMCA大会のテーマは「Sustainable Planets」。最新の情報を学びながら、これからの地球のあり方について改めて考えたいと思います。

(中村 隆)

第13回 名古屋YMCA大会 報告

6月28日(日)、名古屋KKRホテルにおいて第13回名古屋YMCA大会が開催されました。本大会は、実行委員長の河合皓太氏を中心とする実行委員会の企画・運営により実施され、91名の参加者が集いました。

第1部では礼拝に続き、みなみや音楽隊によるバイオリンとピアノのミニコンサートが行われ、心豊かなひとと



きを共有しました。また、永年会員継続表彰に加え、特別表彰として、10年にわたり「こひつじ保育室」で読み聞かせボランティアを続けてくださっている「話し方と朗読よくばり講座」の皆さまに感謝を込めて表彰を行いました。

第2部では、VISION2030の4つの柱の一つである「Sustainable Planet(持続可能な地球のために)」をテーマに開催されました。基調講演では、(株)UPDATERの真野秀太様をお迎えし、「未来を変えるために今できること」と題してお話いただきました。その後のグループディスカッションでは、それぞれの思いや考えを分かち合い、未来の名古屋YMCAに向けた取り組みについて共有しました。参加者にとって学びと気づきに満ちた、有意義な研鑽の場となりました。
(担当スタッフ 中井 信幸)

維持会員感謝・ご寄付感謝

※ご寄付をいただくタイミングによっては、掲載が前後する場合がございますのでご了承ください

維持会員(継続)

板井 裕美	小林美菜子	磯部 裕幸	磯部真知子	渡辺 真悟	鈴木誠一郎	鷺尾 文夫	杉山 弘時
吉田 一誠	吉田あま子	小澤 幸男	水野かきつ	土屋 俣子	土岐 朋楓	酒井 沙織	平尾 泉
田中 万寿	山本 和子	小島とよ子					

賛助会員(継続)

株式会社中島建築事務所 学校法人金城学院 名鉄六合株式会社 他

寄付金・募金

(国際協力募金)

大谷 多恵	横山 玲	坂野 心優	広瀬 謙一	竹田 杏奈	中山 貴仁	野村 希子	野村 開
木下 遙基	深谷 聡	加藤 千尋	足立 智美	光田 進吾	米村 文杜	林 達也	江藤 毅
川本 龍資	西尾 琴美	瀬川 景子	服部 稜	鬼柳 隼大	及川 蒼	石井 宏明	林 依怜菜
水谷 凰杜	石原 大誠	渡辺 孝	西村 清	加藤 明宏	岩井 椋平	神野 啓子	川口 恵
友井 結栴	友井 大翔	清瀬 夕	近藤 広都	細萱 柚希	木村 匡吾	大崎 桃奈	前田 敏江
長谷川 葵	長谷川 隼	丹羽 玲歌	丹羽りんか	竹内陽乃里	河村 幹也	丹羽 光	木村 帆花
山下 乃愛	山下 夢月	手崎 多鳳	大浦 蒼紘	富田 英汰	黒部 健心	山崎 駿太	大矢ゆかこ
牧野 和博	早川 弘美	早川 政人	松原 行謙	松原 好伽	中條 秀和	服部 智子	荒川 恒子
加藤 明宏	清水美佐子	佐藤 真洋	山田 蘭	坂本 果鈴	村松 菜乃	鵜飼 真守	松尾 貴美
宮地 純子	東田 美保	三ツ井多美子	たかぎこうへい	ウシダ ヨウコ	カティワダ サミラ		
さわりり	オモオモレギー・ジェームス・エヒース			かみさわ高学年生	名古屋東海ワイズメンズクラブ	他	

(学童キャンプ)

塩田 保	義井 裕子	嶋崎 英子	西村 清
渡辺 孝	相馬 静香	神野 啓子	杉山 弘時
牧野 和博	吉川 裕子	山本 徹	林 敦子

(一般寄付)

濱塚 有史

早天 祈禱会

日 時 7月7日(火) 7:45~

会 場 名古屋YMCA5Fチャペル

奨 励 大島純男先生

※8月はお休みです。

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ	052-879-6300
かりやYMCA保育園	0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2026年度聖句

「平和を実現する人々は、幸いである。」
マタイによる福音書 5章9節